

大豆、小麦・大麦、とうもろこし、ばれいしょ、にんじんの雑草防除に

クリアーダン®

乳剤・細粒剤F

【有効成分】

乳 剤：ベンチオカーブ50.0% ペンディメタリン5.0% リニユロン7.5%
細粒剤F：ベンチオカーブ8.0% ペンディメタリン0.8% リニユロン1.2%

作用性の異なる3種の除草剤の混合剤で、幅広い雑草を長期間きれいに抑えます。

特長

1 広範囲の雑草に有効

雑草発生前の散布で、ほとんどの1年生イネ科および広葉雑草を同時に防除します。

2 安定した除草効果

作用性の異なる3種の有効成分を混合することにより、幅広い草種に安定した除草効果を示します。

3 長い持続効果

本剤は土壌中の移動性が小さく、残効期間が長いため、長期間雑草の発生を抑えます。

4 散布作業が簡単

細粒剤Fは、水利の不便な場所でも、そのまま手軽に散布できます。



しつこい畑地雑草を、きれいに抑えます。



大豆、小麦・大麦、とうもろこし、ばれいしょ、にんじんの雑草防除に

クリアターン® 乳剤 細粒剤F

除草剤分類 15,35

適用作物と使用方法

■クリアターン乳剤 (農林水産省登録 第18606号)

作物名	適用雑草名	使用時期	適用土壌	10アール当り使用量		使用回数	使用方法	適用地帯
				薬量(mL)	希釈水量(L)			
だいず えだまめ	一年生雑草	は種直後 (雑草発生前)	全土壌 (砂土を除く)	500~800	70~100	1回*	全面 土壌 散布	全 域
		定植3日前まで (雑草発生前)		500~700				
小麦	は種直後 (雑草発生前)	400~600		北海道				
大麦		500~700		北海道を除く全域				
とうもろこし 飼料用とうもろこし	植付後~萌芽前 (雑草発生前)	500~800		全 域				
ばれいしょ		600~800						
にんじん らっかせい	は種直後 (雑草発生前)	500~700	100					

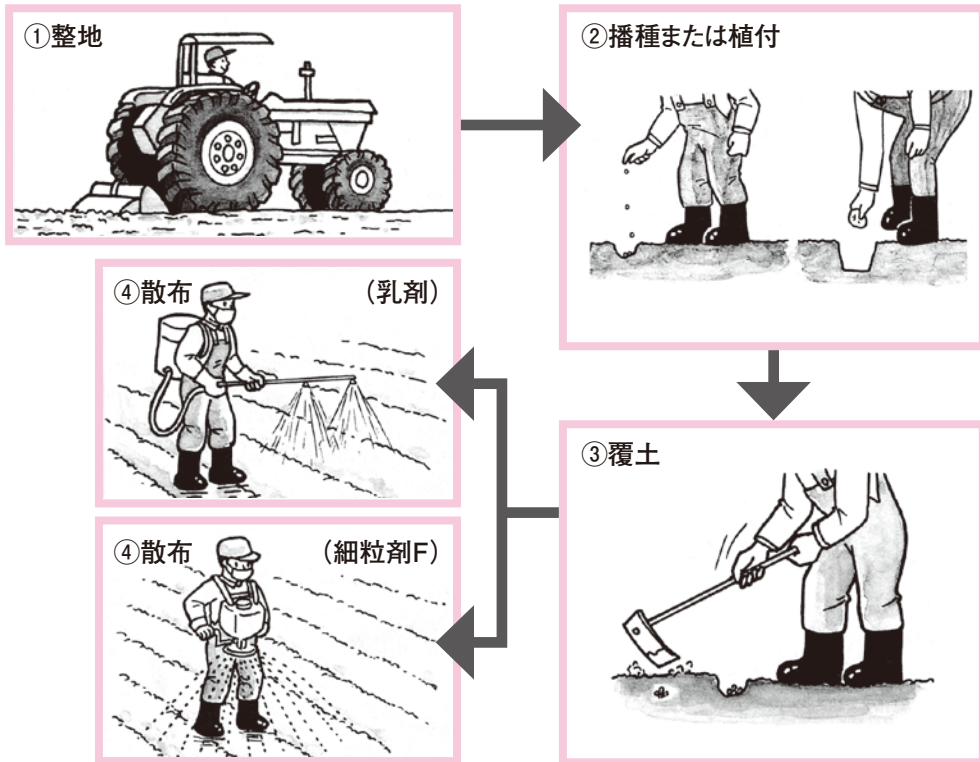
■クリアターン細粒剤F (農林水産省登録 第18859号)

作物名	適用雑草名	使用時期	適用土壌	10アール 当り使用量	使用回数	使用方法	適用地帯
小麦 大麦 だいず えだまめ とうもろこし 飼料用とうもろこし にんじん ばれいしょ さといも	一年生雑草	は種直後 (雑草発生前)	全土壌 (砂土を除く)	4~5kg	1回*	全面 土壌散布	全 域 北海道を除く全域 全 域
		植付後~萌芽前 (雑草発生前)					全 域

*各有効成分を含む農薬の総使用回数

- ベンチオカーブ:1回 ●ペンディメタリン:1回【さといも:2回以内(土寄せ後の処理は1回以内)】
- リニユロン:1回【にんじん:2回以内(は種直後は1回以内、にんじん3~5葉期は1回以内)、だいず、えだまめ:2回以内(全面土壌散布は1回以内、雑草茎葉兼土壌散布は1回以内)】

上手な使い方



使用上の注意(抜粋)

- 【乳剤・細粒剤F共通の注意】
- 雑草の発生前に使用してください。雑草が発生した後の散布は効果が劣ります。
 - 土壌表面に所定の希釈液または細粒剤を均一にむらなく散布してください。
 - 碎土、整地はていねいに行い、覆土深は必ず2~3cmとし、軽く鎮圧した後に散布してください。
 - だいず、えだまめ、にんじん、とうもろこしのマルチ栽培では薬害を生じるおそれがあるので使用しないでください。
 - 蚕に対して影響があるので、周辺の桑葉にはかからないようにしてください。
 - 砂質土の保水力の小さい畑では使用しないでください。また、雨が多量に降り続くときや冠水、浸水しやすい畑では薬害のおそれがあるので使用をさけてください。
 - 激しい降雨が予想される時は使用をさけてください。
 - ばれいしょに使用する場合には、薬害を生じるおそれがあるので、必ず萌芽する前に使用してください。
 - 使用にあたっては、使用量、使用時期、使用方法などを誤らないように注意し、特に初めて使用する場合には病害虫防除所等関係機関の指導を受けることをお勧めします。
 - 水産動植物(藻類)に影響を及ぼすおそれがあるので、河川、養殖池などに飛散、流入しないよう注意して使用してください。散布器具および容器の洗浄水は、河川等に流さないでください。また空容器、空袋などは水産動植物に影響を与えないよう適切に処理してください。

【乳剤の注意】

- 土壌が極端に乾燥している場合には効果が劣ることがあるので、希釈水量を多めにして散布してください。
- だいずおよびえだまめの定植前に使用する場合、薬害を生じるおそれがあるので、覆土時に本剤が処理された土壌が根に接触しないよう注意してください。
- 作物の生育期に散布すると薬害の危険性があるので使用しないでください。
- 散布の際には、隣接作物にかかると薬害を生じるので、散布液がかからないよう注意してください。
- 散布器具は使用後十分水で洗ってください。
- 衣類、自動車や壁などの塗装面に散布液がかかると変色するおそれがあるので、散布液がかからないよう注意してください。
- 使用残りの薬液が生じないように調製をおこない、使いきってください。

【細粒剤Fの注意】

- 土壌が極端に乾燥している場合には効果が劣るので、土壌が適度の水分を含んでいる時に散布してください。

詳しい使い方、登録内容は
こちらから。

乳剤

細粒剤F

●使用前にはラベルをよく読んでください。●ラベル記載以外に使用しないでください。●本剤は小児の手の届く所には置かないでください。●防除日誌を記載しましょう。

本資料は2020年2月現在の知見に基づいて作成しております。 2236(23-2)